

〈下関市長・長門市長コメント〉

本日、国土交通省で開催された社会資本整備審議会道路分科会第23回事業評価部会において、山陰道（三隅・長門道路）の新規事業化が妥当と決定された旨報告がありました。両市が念願して止まなかった事業化に向け大きな前進があったことは大変喜ばしいことであり、国土交通省をはじめ関係の皆様のご尽力に感謝申し上げます。

山陰道は、いのちの道、物流の道、観光の道として、山口県北西部の一体的な発展を図る上で極めて重要・不可欠な道路です。今回の三隅・長門道路の整備により、15年の時を経てようやく、山口県北西部の下関市・長門市・萩市の3市間が切れ目なく接続され、また観光と産業の拠点の一つである仙崎に中間インターチェンジが設置されることにより、両市の経済の活性化に大きく寄与するものと確信しています。

今後は山陰道豊田以南（豊田・下関間）が一日も早く事業化され、九州圏を含む高速道路ネットワークに接続されることを期待しております。事業化された際は、国や県、関係の方々と緊密に連携し、円滑な事業進捗が図れるように努めてまいるとともに、山陰道の整備効果を最大限に発揮するため、地域の活性化施策についても、両市が連携し、取り組んでまいります。

令和5年3月15日

下関市長 前田 晋太郎

長門市長 江原 達也